

平成29年11月24日

各位

吉備高原学園高等学校

校長 諸藤 定良

## お礼とご報告

本校の教育活動につきまして、日頃より深いご理解とご協力をいただき、心より感謝いたしております。

さて、10月下旬に発生いたしました一連の健康被害につきましては、関係の皆様方に変なご心配とご迷惑をおかけいたしました。

また、生徒や学校へのお気遣いの中で開催いたしました11月4日の本校文化祭においては、遠方より、またお忙しい中を、例年にも増して多数の保護者ご家族の皆様、また、卒業生や地域の方々にご来校いただきました。

生徒たちは、皆様からのご声援を自らの力に変えて、元気一杯に活動する姿を披露することができました。皆様からの暖かいご支援とご協力に対し、深く感謝いたしております。誠にありがとうございました。

保健所による検査結果について、下記のとおりご報告いたします。

### 記

#### 保健所からの調査結果報告について

健康被害発生の原因として考えられる細菌、またはウイルスの可能性を確認するために、保健所として各種の調査を行った結果として次のことが伝えられました。

##### (1) 喫食のアンケート・ヒアリング調査

発生した当日から過去数日間に遡り、毎食のメニューごとの喫食状況について、生徒・教職員全員を対象とした調査を行った。その回答と、腹痛などの症状の発生時間帯の関連から、25日の夕食が原因であるとした。

##### (2) 生徒、教職員、食堂従業員等の便検査の結果

ノロウイルスや食中毒菌は検出されなかった。

10月30日付け文書でお知らせした、1人から検出された「大腸菌 O-29」については、強い毒素を産生しないもので、一般的には健康とされる人からでも検出さ

れており、症状や発生状況などから、今回の原因菌とは考えられない。

### (3) 食材の検査結果

厨房で検食用に保管していた食材 60 検体について検査を行ったが、食中毒が疑われる菌の検出はなかった。さらに後日、揚げ物用の油についても調査したが、特に問題は見られなかった。

### (4) 最終結果について

発生の状況、共通食が食堂の食事のみであることなどから、食堂の食事を原因とする食中毒と判断し、備前保健所では再発防止等の指導を含めて5日間の営業停止処分とした。

なお、各種の調査や検査の結果として、原因となった細菌を特定するには至らなかった。

という内容でした。

保健所からの指導で、厨房における調理過程の安全性をより高めるとともに、学校からの要望に応じて、食事メニューにも一段と工夫されたものが提供されるようになりました。

学校として、委託業者には食の安全を常に求め続けるとともに、生徒に対しても今後想定される感染症等への予防に努めるよう理解と協力を求め、適切に指導しながら、安心して寮生活が送れるよう、万全を期してまいります。

関係の皆様には、今後とも、学校・寮の運営について、ご理解とご協力をお願いいたします。